

製品名: カドヘリン7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07835**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	87kDa

抗原情報

遺伝子名	CDH7
別名	CDH7; CDH7L1; Cadherin-7
遺伝子 ID	1005.0
SwissProt ID	Q9ULB5
免疫原	抗血清はヒト CDH7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 651-700

背景

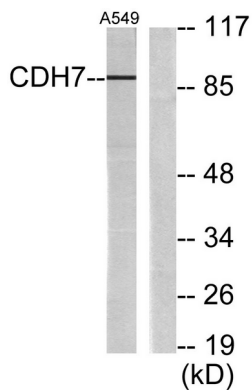
この遺伝子は、カドヘリンスーパーファミリーの II 型古典的カドヘリンをコードします。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも 1 つは、タンパク質分解によって成熟糖タンパク質が生成されるプレプロタンパク質をコー

ドします。このカルシウム依存性細胞間接着分子は、5つの細胞外カドヘリンリピート、膜貫通領域、そして高度に保存された細胞質末端から構成されています。II型（非定型）カドヘリンは、I型カドヘリンに特異的なヒスチジン-アラニン-バリン（HAV）細胞接着認識配列を欠くことで定義されます。カドヘリンは、同種親和性様式で細胞間結合を媒介し、異種細胞の選別に貢献します。この遺伝子の変異は、ヒト患者における双極性障害と関連している可能性があります。この遺伝子は18番染色体上の遺伝子クラスターに存在する。[RefSeq 提供、2016年5月]機能: カドヘリンはカルシウム依存性細胞接着タンパク質である。細胞同士を接着する際に、カドヘリンは優先的にホモフィリックに相互作用するため、異種の細胞種の選別に寄与している可能性がある。類似性: 5つのカドヘリンドメインを含む。、

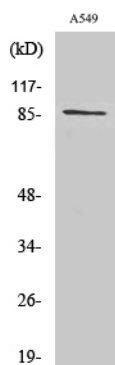
研究分野

アドヘレンス・ジャンクション

画像データ



CDH7抗体を用いたA549細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000に希釈したカドヘリン7ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析